



クリスマスのテーブルに

ポインセチアが似合います



大阪にて パート3

リコー教育機器(株)は全国に支店があり、大阪支店は大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、四国4県を管轄している支店です。私はどこに配属されるかわかりませんが、まずは教育です。大阪支店の中には営業1課、販売促進課、管理課があり、営業所は、神戸、京都、高松、愛媛にありました。販売促進課の係長が私より5歳程年上の女性でもちろん結婚されていますが、彼女が私の教育を担当することになりました。

教育と言っても会社は出来てばかりですので、とても忙しく私は営業経験者として、商品知識のみの1日の研修でした。あとは自分で一日時間を上げるから勉強して下さいと言われ、随分乱暴な会社だなあと思いましたが、商品は単純な機械で、Aの大きさの長方形の箱型の機械でボタンが、赤、青、白の3つだけのシンプルな機械で、青を押すと真ん中の盤が回る、赤を押すと止まる、白いボタンは盤が回り、録音が出来るという簡単な機械です。

これだけ聞いただけではどんなものか想像ができませんが、よくきかないと思いますが、ようするにAの紙の裏に磁気塗料が塗ってあって機械はテープレコーダーのような針がありそれがぐるぐる回り、磁気塗料に録音してある声を再生して、算数や、国語を教える、紙から声が出るマイティチャーという特許商品なのです。紙から声が出て勉強を教えてくれる画期的な機械ですとその係長は熱心に私に教えてくれました。ちなみに係長はなかなか美人ですてきなひとでした。(かんけいないかあ)実は後々その人とは一緒に仕事をすることになるのですが、その時はそんな事は気が付かず淡々と講義を聞いていましたが、ほとんどきれいな人だなあという印象しかなく商品知識は全然頭に入ってきませんでした。美人というのもうら若き男にとつては罪なものです。(当時私は27歳)

鉄の箱型の機械とソフトが小学1年から6年までの算数・国語の1年間で12万円程でした。今だと30万円はする価格です。ソフトは後に幼児物、理科・社会・中学英語・数学と増えていきました。セールスマンはこの機械を1台づつ持って各家庭に訪問して、デモストレーショ

ン(デモ)をして売るのでそうです。とても重くて大変だなあと思ったものです。

私は話を聞きながらこれをどうして売るか考えていました。ソフトのサンプルをセールスマンに持たせ、それをお客さんに聞かせて売るのでそうです。高いのですが、クレジットも有り月々3,000円で買えます!と言って売るのでそうです。

一日目の教育は商品知識のみでセールスの仕方は自分で考えてと大雑把な会社だなあと思いつつ、皆が忙しく動き回っているのを見ると仕方ないかと二日目は自分ひとり、マイティチャーとにらめっこ。さてどうして売るか。メーカーの人間でも初めは家庭訪問して売って下さいと言われていたの、営業マン全員販売店に出向して毎日セールスしているようです。皆一流の

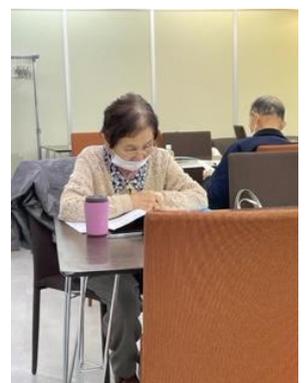
大学を出て入社して来ているので私のように途中入社は珍しいことのようにです。新人の営業マンが重たい機械を持って毎日各家庭に訪問して居ると聞いて私の新人の時を思い出して、同情してしまいました。売れない時は支店長に大きな声で怒られるのだなあ。きつとこういふと思います。「メーカーの人間が販売店のセールスに負けるとは何ということか、恥ずかしいと思え!」と、私も覚悟をしておこうと思っていました。

私は二日目、一人で与えられたセールスブックの中のソフトを一枚づつ眺め、どれでデモをしようかと考えていました。1枚づつ聞いて居てこれだと思えるものに出会いました。それは、小学1年生の算数の(13引く8は?)と言うソフトです。これでセールスすることにしました、例え何年生でもこれ一枚で、

セールズ話法をまとめました。

丁度この年は文部省の要領が変わったばかりで、算数の教え方も変わりましたのでそれを使うことにしました。文部省云々は、美人係長に教わっていただいたので、感謝、感謝で私なりのセールズ話法を作り上げました。販売促進課とはソフトの研究や、学校の授業の事や販売店を指導する部所で、教師の免許を持った女性が7名程仕事をしているところで、むさ苦しい男のセールズの中にあつてなかなか華やかな部所です。可愛い娘やそうでもない娘もいて、私は勉強中なのに不謹慎に品定めをして楽しんでいる時、いきなり支店長から「籠谷君、勉強は出来たかね？」と声がかかりました。「はい、一応は私なりに」「そうか、では聞かせてもらおうか」

籠谷 弘



歌声喫茶 1月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

1月13日、27日

「洛西」(第1、3木曜日)

1月6日、20日

楽々亭第15回12月の予定

12月14日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時~12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。